

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより

平成25年度No.8 (通算48号)

平成25年11月26日

学校間連携・地域との連携について

校長 藤田辰夫

従来学校は、「社会に対して閉鎖的である」とか「物事を隠す傾向にある」とか
いわれてきました。教育改革が進み、「各学校が創意工夫を生かし特色ある教育、
特色ある学校づくりを進めること」を基本に、「開かれた学校づくり」に取り組ん
できました。ここ数年、保護者や児童、さらに地域の方へのアンケート調査や地域
人材の学校への招聘、あるいは授業への積極的な参加などがその一環です。

また、学校間の連携と交流の促進も図ってきました。小郡地域では、3小学校と
5園とで構成する、「小郡ブロック幼保小連絡協議会」の実施です。毎年持ち回り
で授業公開や保育公開などを行い、協議や情報交換を通じて、子どもたちの育ちの
継続性を見守っていこうとしています。

2つめは、小中連携や小小連携です。1中3小の校長を含めたそれぞれの係ごと
に協議会を実施し、情報交換をして、指導の連続性や中学校へのなめらかな接続を
促していこうとしています。11月8日に、3小学校の6年生が、中学校の見学会
を行いました。授業参観や施設の見学を行い、中学校進学への不安の払拭と期待感
を持たせました。さらに、11月26日には、中学校の先生方が、3班に分かれそ
れぞれの小学校へ学校訪問し、授業参観や協議を行いました。

さらに、学校だけではなく、PTAの連携・協力も進んでいます。例えば本校の
おやじの会が中学校の奉仕作業に参加して、作業を手伝ったという事例もあります。
PTA関係者の交流会や協議会を開き、4小中が同一方向で子どもたちの育ちを見
守っていこうとしています。

現在県教委は、「地域協育ネット」構想を打ち出しています。これは、中学校区
ごとに、校区の課題を共有し、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支援してい
こうとするものです。小郡地域もこれを見すえて、今後、組織作りやコーディネー
ターのお願いなど、取り組んでいかなければならないと考えています。学校間連携、
地域と学校連携等、地域で子どもを育成していくことが重要だと考えています。

秋の行事をふりかえる

楽しさいっぱい「ふれあいフェスタ」(10/19)

吹奏楽部のファンファーレで「ふれあいフェスタ」がオープンしました。

きつねうどんにフランクフルト、やきとり、おむすび等たくさんの食べ物コーナーがありました。今年初登場だった、チョコバナナが大人気で、調理が間に合わず長い列ができました。友愛バザーでは、掘り出し物を見つけようと、大人も子どもも真剣に品定めをしていました。

読み聞かせや人形劇、おかしつり、ひもくじに子どもたちは大喜びでした。

最後に、〇×(マルバツ)クイズがありました。やさしいサービス問題に全問正解の子が多く、ジャンケンで賞品をもらえる子が決まりました。

とっても楽しい「ふれあいフェスタ」でした。PTA役員の皆様ありがとうございました。



ピカピカ就学時健康診断(10/22)

平成26年度に小郡小学校に入学する児童の就学時健康診断が行われました。内科・耳鼻科・眼科・歯科の校医先生による健康診断や聴力・視力の検査等が実施されました。今のところ、来年度小郡小学校に入学する児童は、60名で2クラスになる予定です。

来年度6年生として、主にお世話をすることになる5年生が、就学時健康診断のお手伝いをしてくれました。並ばせたり、そろって移動させたり、トイレの声かけ等を行いました。健康診断が早く終わった児童へは、絵本を読んであげる5年生の姿が見られました。5年生は、立派なお兄さんお姉さんぶりでした。

フェスタオーフェニング

思いを伝える 見守り隊感謝の会(11/6)

毎日お世話になっている見守り隊の方に感謝を表す会が行われました。

感謝の言葉が、PTA会長、校長、6年児童代表からありました。6年生からは、感謝の気持ちを込めて「ひかりの空へ」の合唱がありました。見守り隊を代表して中村勝一さんより、見守り活動への熱い思いやあいさつの奨励等についてのお話がありました。その後、見守り隊・地区委員・学校の3者で通学路の危険箇所についての話し合いをし、見守り隊と一斉下校をしました。

日々のご協力に感謝申し上げます。



6年生合唱

話し合い

かがやく 第79回小郡小学校音楽会 (11/13)

79回を数える伝統の小郡小学校音楽会が行われました。ピアノ伴奏の児童の中には、夏休み前から楽譜をもらい練習をしていた児童もいます。9月には、みんなが練習を開始しました。音楽は、一人ひとりの音や声が正確に出ること、みんなの音や声を合わせることで、合わさった音や声に強弱などの表現を加えて完成させていきます。一人ひとりの努力と協力、思いやり等が合わさって曲が完成していきます。長い期間かかりますが、その分立派な合唱や演奏ができた時の喜びはとて大きなものになります。吹奏楽部を含め各学年、素晴らしい合唱・合奏を披露しました。

保護者の声を紹介します。

- ・昨日は素敵な音楽会ありがとうございました。下の子も一緒に歌える位、家でも練習していたので、他のお子さんも含め、大きな声で堂々と歌っていて、周りの他の学年のお母さん達からも大絶賛で、何よりみんながキラキラ楽しそうで嬉しかったです。
- ・人を思いやる優しさと自分を信じることの大切さを伝えるメッセージが込められていたんじゃないかと、ふと思いました。一生懸命練習し、本番でバッチリ！嬉しい一日でした。ご指導ありがとうございました！先生方の劇がとても面白かったです。いい学校だなあと思いました。

ときどき 3・4年生自転車教室 (11/21)

自転車の乗り方を学ぶ、自転車教室を実施しました。地域から、「自転車の乗り方が乱暴である。」「自転車の乗り方のルールを知らない。」と言った声も寄せられ自転車教室を行いました。家が学校に近い児童が、約40台自転車を押してきてくれました。その自転車を借りあって乗る練習をしました。主な内容は次のとおりです。

- ・安全な発進のしかた。(ブレーキをかけ、またぎ、右足で踏み込めるようにペダルの位置を調整する。前後の安全を確認し、右足でペダルを踏み込んで発進)
- ・安全な停止のしかた。(前後の安全を確認し、ブレーキをかけながら、止まった直後に左足を着き停止する。)
- ・狭い道から広い道への出方(一旦停止し、左右の安全を確認し発進する。)
- ・横断歩道のある交差点の渡り方。(停止し、下りて、左右確認し、歩行者がいる場合は自転車を押して横断歩道を渡る。)
- ・踏切の渡り方(停止し、下りて、左右確認し、自転車を押して踏切を渡る。)

特に発進と停止に力を入れました。しかし、十分ではありません。家庭でも児童の自転車の乗り方をしっかり見ていただき、指導してください。自転車に乗る力量を見定めて、家庭で乗れる範囲を決めることも重要だと思います。自転車が交通事故の加害者になることもあります。自転車事故での高額な損害賠償がニュースにもなっていました。

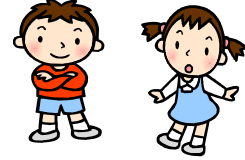


自転車による加害事故を意識してください。

発進準備

「たからもの」だよ

金子みすゞを世に紹介された矢崎節夫先生が、小郡小学校に来られ、2・3年生を対象にお話をしてくださいました。矢崎先生は、山口県の文化功労賞（文芸；金子みすゞの文学）を受賞されました。11月12日に県庁で行われた授賞式の後に、ボランティアで小郡小学校に来てくださいました。



金子みすゞを通して、

- ・視点を変えて見ることの大切さ
- ・汚い言葉を発した時、一番最初に聞くのは自分です。
- ・「辛」（つらい）という漢字に一画入れれば、「幸」（しあわせ）になる。
- ・人には「できること」「できないこと」がある、そこにいてだけで百点満点 等のお話をしてくださいました。また、次のような問いかけがありました。

「お家で、『あなたは宝者（たからもの）だよ』と言われている人は手を挙げてごらん。」

多くの子も達の手が挙がりました。

お話を終えられた矢崎先生が、小郡小の教員に

「小郡小は、宝者と言われている子ども達がたくさんいていいですね。大切にされているし、それを、言葉にして伝えられています。同じ問いかけをしても、あまり手の挙がらない学校もあるんですよ。」

と言われました。嬉しく、誇らしく思いました。

3年生の感想より

～わたしは、今まで弟をいつもいじめていて、大切なたいせつな「あなた」という人を一人なくしそうでした。だけれど、今日、矢崎先生の話聞いて、やさしさって、大切なんだなと思いました。これからも、人と人のかかわりを大切にします。

～友だちを悪口できずつけることは、自分という人をきずつけることになるから、とてもいけないなとしみじみ感じました。ぼくは、大人になっても矢崎先生が言ったことをわすれないようにしたいです。

12・1月の行事予定

12 月

- 4日（水）校内持久走大会
- 5日（木）学校運営協議会
- 12日（木）短縮時程
- 13日（金）短縮時程
- 17日（火）こころの劇場（6年）
- 19日（木）学期末個人懇談会
- 20日（金）学期末個人懇談会
給食終了
- 24日（火）終業式

1 月

- 8日（水）始業式、給食開始
- 14日（火）にこにこタイム
- 16日（木）参観日、人権教育後援会
学校運営協議会
- 17日（金）避難訓練
- 20日（月）委員会活動
- 27日（月）クラブ活動
- 28日（火）「薬物乱用ダメ。ゼッタイ」
教室（6年）



※予定ですから変更の可能性もあります。